

首斬淺右衛門

江戸愛蔵篇

帝キネ時代映畫

原作並脚色者 橋本美沙天
監督者 渡邊新太郎
撮影者 高橋武則

主要役割

首斬同心香島淺右衛門 明石縁太郎
吟味奥力佐分利源八郎 林誠太郎
女賊和蘭陀獸留多のお銀 松枝鶴子
源八郎妹お藤 生野初枝
久留米浪士夜鴉の新九郎 東真之助
お銀の乾分 市川海老三郎
おじやたらのお留五郎 市川海老三郎
奉行原田甲斐守 實川延笑
亡父龍神丸浪右衛門 中村龍三郎
初代淺右衛門 大野三郎
捕方奥力松木文助 日の本一男

解説——渡邊新太郎氏の「浪人昇天」に次ぐ作品である。
略筋——大江戸小傳馬町半屋敷の夜が陰惨な妖氣に更け行く頃——棟始きの同心屋敷では首斬同心香島淺右衛門が幾多邪惡の血を吸ふた鎗刀關孫六を暗器な氣持で眺めてゐた。其時床下から現れたお訊ね者の銀次が斷罪になる時の生肝をかたに淺右衛門から五兩の金を借りて行く。灯影暗き土藏の中に御禁制のおらんだからたか弄ぶ一群の男女があつた。お銀からくりを憤つた夜鴉新九郎の手から彼女を庇つた淺右衛門は其後一度二度の會合が重なるさ共にお銀と絶ち難い愛着の絆に結ばれて行つた。海賊龍神丸の殘黨じやたらのお留五郎御用辨の網が張られた夜、淺右衛門のために片腕を落された彼はお銀が親分の仇の血を引く淺右衛門と懇なるを憤り乾分の縁を切つて去つた。淺右衛門の戀の意趣を持つ夜鴉の密訴によつて奉行原田甲斐守は吟味奥力佐分利源八郎に淺右衛門の取調べを命じた。捕方奥力松木文助等は彼をお銀を捕るべくおらんだ茶屋へ急いだ。この時傍に潜んでゐる留五郎の一指動けば一同の生命は……？翌日愛蔵の江戸を捨て、長崎に急ぐ一隻の帆船があつた。



寫眞 「首斬淺右衛門」帝キネ渡邊新太郎作品主演者の明石縁太郎。